

新潟県中越沖地震調査報告（２）

日本都市計画学会地震災害復興調査活動指針（案）作成分科会

池田浩敬（富士常葉大学）

澤田雅浩（長岡造形大学）

福留邦洋（新潟大学）

2007年7月27日（金）、新潟工科大学において、新潟県中越沖地震で大きな被害を受けた柏崎市の東本町の「えんま通り商店街」の復興を考える組織として、商店会、柏崎市役所、地元建築士会、県内の4大学（新潟工科大学、新潟大学、長岡技術科学大学、長岡造形大学）からなる組織の立ち上げの会議が行なわれた。

当該組織は、今後、当該地区の被害の現況や商店会・住民等の意向調査を行なうとともに、参考となるまちづくり事例や活用可能な事業事例等に関する情報提供、復興プランの作成に向けたワークショップの実施などを行なっていくことが話し合われた。

また当該組織では、そうしたプロセスの中で、建築学会や都市計画学会と連携していくことも視野に入れており、その連絡調整の窓口として、今回、日本都市計画学会地震災害復興調査活動指針（案）作成分科会 代表の池田（富士常葉大）が当該会議に参加した。

今後、当該組織と学会の連絡調整の窓口として、会議に参加するとともに、学会員に対し当該組織の活動についての情報提供を行っていくこととなった。

なお、本分科会のメンバーでもある澤田、福留の両氏は、それぞれ県内4大学の関係者の立場で当該組織に参加し活動している。

文責：池田